第２９回作業療法臨床実践研究会

作業療法×健康関連QOL

「作業療法」と「健康関連QOL」の関係性を見つめ直し
臨床実践のヒントを得ましょう

開催日時

2018.9.13（木） 19:00-20:30

会場：聖隷クリストファー大学
3号館2階
（浜松市北区三方原町３４５３）

参加費：300円（会場費）
※OT生涯教育ポイント1Pがつきます

【健康関連QOLとは】

・作業療法などの医療により変化が期待できるQOLは、健康関連QOLと定義され,作業療法を含めたアウトカム研究には欠かすことのできない指標と考えられています。

・健康関連QOLは、心身機能、活動・参加へのアプローチが本人の幸福度や満足度などに、どの程度効果があったのかを包括的に測定できるものであると報告されています。

【なぜ健康関連QOLが重要なのか？】

・作業療法をはじめとしたリハビリテーションでは,従来から身体機能、ADL能力の成果指標が多く用いられてきました。しかし、今後はQOLの側面や、入院期間、コストといった社会レベルの成果指標も重要になると考えられています。

・特にQOLに関しては、我が国の平均寿命が延びたことにより、どれだけ健康な状態で長生きするかという健康寿命が重視されてきています。

講師

＜泉 良太准教授＞
聖隷クリストファー大学

【主な研究テーマ】
「リハビリテーション介入による
健康関連QOLの評価」
「身体障害領域における作業療法の効果」
「生活の質（QOL）調査」

申し込み

参加を希望される方はQRコード
または作業療法臨床実践研究会
ホームページよりお申し込みください。
ホームページ：
http://otcp.kenkyuukai.jp/special/index.asp?id=7950

コーディネーター：
・鴨藤祐輔　訪問看護ステーション不動平
・中村美希　JA静岡厚生連　遠州病院
・山崎竜弥　浅羽地域包括支援センター
・国塚裕太　訪問看護ステーション三方原

会場係：
・鈴木達也　聖隷クリストファー大学